

新月灯花

第七号
発行日：2013年9月25日
不定期発行
責任編集：新月灯花

あさこはうす

大間原発建設反対のシンボル



あさこはうすとは、青森県大間町に建設が予定されている原発に、たった一人で反対し続けた熊谷あさこさんの手作りログハウスです。2006年あさこさんは亡くなりましたが、娘さんの厚子さん意志を継ぎ、今も土地を守り続けています。

青森県の先端にある大間町に原発の誘致が決まったのは1984年。すぐに土地の買収が始まりました。

最初は建設に反対していた町民たちも、だんだん売却を受け入れていきました。そんな中、頑として土地を売らざ一人になって反対し続けた女性がいました。それが、熊谷あさこさんです。あさこさんはどんなに大金を積まれても、どんな嫌がらせに遭っても土地を守りました。それは『きれいな自然を子供達に残す』というあまりにもストレートな理由なのです。

「あさこはうす」で話したかった

私たちは、厚子さんに会いに、あさこはうすを訪ねました。巨大な権力に一人で立ち向かう強固な意志を持った、ちよっと近寄りたがたい人間をイメージしていた。

しかし、私たちを迎えてくれたのは、イメージとだいぶ違う丸いオバチャンだった。体形のことを言っているのではない(いや、体形も丸いのだが)、厚子さんススマセン)熱練の丸みというか、とにかく、屈託の無い笑顔が何とも丸くて暖かい！まるで太陽のよう！



厚子さん

厚子「一人でも反対を続ける強固な意志は何に支えられているんですか？」

厚子「簡単なことなんです。ちゃんと未来の事を考えたら、絶対に原発は建てちゃいけないんだから」

優子「でも、現にみんな土地を売ってしまったわけですよね？」

厚子「その人たちに何が残ると思う？その人たちは子どもに何を残せると思う？」

何としても土地を買収したい電力会社側から、様々な圧力があつたそう。かつては親しかった地元の人とも断絶状態になり、町ですれ違う同級生にも無視された。厚子さんは、それでもずっと声をかけ続けたそう。

厚子「『こんにちわー！』とか、『今日は魚捕れてる！？』とかね。ほとんど無視されるけど、最近はいさかい声で『おう』とか返すようになってきたよ(笑)」

声あげられないだけで、建設に本当は反対してる人や、土地を売って後悔してる人もいるはずなんです。ただお金もろっちやうった手前、引っ込みがつかないと思ってるんじゃない？

私なんか『いーじゃん！気が変わりました！って、戻ってくれば！』って言いたくなっちゃうんだよね！(笑)」

気づいたんだから、その時から変わらばいいじゃない！

福島原発事故以来、沢山の人が手紙を送ってきたり、あさこはうすを訪ねて来たりするそう。私たちもそのうちの一人なわけで、事故があるまで大間原発の事なんて全く知らなかった。なんだか申し訳ない気持ちになる。

厚子「よく手紙やなんかでも、今まで知らなくてごめんなさい！とか書いてくれる人がいるんだけど、全然いいの。知って、気づいたんだから、その時から変わらばいいじゃない！」

優子「そう言ってくれると、ちよっとだけ救われます」

厚子「実は私も、母がずっとひとりで闘つてることを知らなかったんです。私は母とそっくりな気質だから、知ったら黙っていられないって事を分かってたんでしょ。うね。なんにも話してくれませんでしたよ。でも土地の買収にまつわる事件があつて、それで知ったんです。」

その事件とは・・・2002年大間で、現金を運搬中の車が三人組の男に襲われ、現金7000万円が奪われた。車内には口や手足を粘着テープで縛られた男性2人。銃弾1発が打ち込まれていた。警察の取り調べの結果、事件は現金着服目的の狂言だったことが判明。この金は「あさこはうす」の買収用に電源開発から渡されたお金だったらしい。

当時、離れて暮らしていた厚子さんは、この事件がキツカケで、母親の現状を知ることになる。

厚子「案の定『私も闘おう！』って思った(笑)」

あさこはうす自体は、小さなログハウスだが、厚子さんが守っている土地は結構広い。そして、厚子さんが守っている『未来への愛』は、無限に広い。厚子さんはこの土地で動物を放牧し、花や畑を作り、ゆくゆくは福島の子供達の保養になる場所にしたと言

厚子「子供達には、痛みも辛いことも、嬉しいこともみんな、ちゃんと体験してほしい。人の痛みがわかる大人になつてほしいんだよね」

話しているとき身体が芯まで暖かくなる。青森の先端に、沈まぬ巨大な太陽を見た！

厚子さん。また会いに行きますね！



厚子さんと新月灯花

新月灯花「太陽の遺伝子ツアー」in 祝島

祝島は今回で4回目。ようやく認知された感じ？そして、ついに念願のライブを、島の手作りビアガーデンと朝市でやりました！



朝市で初ライブ♪♪

祝島で30年以上毎週月曜日に行われている1100回を超えた原発建設反対デモにも参加してきました。



祝島の原発建設反対デモに参加したよ！

社会の事や子供達に繋ぐ未来の事が、日常のなかでごく自然に語られる祝島。これこそが最も進んだ社会の姿であり、「希望」だと思えました。また会いに行きます！

新月灯花のマンスリー福島ライブ

- 11月11日 いわきSONIC 0246-35-1199
- 12月11日 いわきSONIC 0246-35-1199
- 12月12日 郡山#6 024-934-1980
- 12月13日 福島ONLINE 024-597-7202